

情報可視化入門 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2023年9月5日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	131	表 11.3	(見出しの列) 表現規則	基本規則
1	132	表 11.4	(見出しの列) 表現規則	基本規則
1	137	表 11.8	(基本規則の 2, 3 行目) 有向エッジの向きを線の先端の形状などで表す。 エッジの重み (Q) を線の太さで表す。	有向エッジの向き⇒線の先端の形状など。 エッジの重み (Q) ⇒線の太さ。
1	141	表 11.10	(基本規則の 1 行目) ノード⇒連結図あるいは隣接行列表現に準じる	ノードの表現は連結図あるいは隣接行列表現に準じる。
1	142	下から 6 行目	クラスタグラフ (cluster graph)	クラスタグラフ (clustered graph)
1	148	表 12.2	(基本規則 2 行目) 親子関係⇒線	親子関係⇒点 (ノード) をつなぐ線
1	150	表 12.4	(基本規則) ノード⇒点 親子関係⇒線 (中心に近いほうが親)	連結図に準じる 親子関係の向き⇒中心に近いほうが親
1	153	表 12.8	(変形・拡張の行) 長方形の高さでノードの重みを表すこともできる。	長方形の幅でノードの重みを表すこともできる。
1	156	脚注	実際には、親の領域の一部ラベルのための…	実際には、親の領域の一部をラベルのための…
1	163	3 行目	人口密度を三角形の…	地域ごとの人口を三角形の…
1	163	図 13.1	(図のキャプション) 地図上の 3 次元棒グラフによる人口密度の表現	地図上の 3 次元棒グラフによる人口分布の表現

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1,2	206	[35] 3行目	(SINMOD '08)	(SIGMOD '08)